

資料7. 日本の県別人口分布と各地域で按分した場合の施設数

地域	都道府県	2013年人口*		300~400万に1施設として按分すると..
北海道	北海道	5431000	5431000	1~2
東北	青森県 岩手県 宮城県 秋田県 山形県 福島県	1335000 1295000 2328000 1050000 1141000 1946000	9095000	2~3
関東	茨城県 栃木県 群馬県 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県	2931000 1986000 1984000 7222000 6192000 13300000 9079000	42694000	10
甲信	山梨県 長野県	847000 2122000	2969000	0~1
東海	岐阜県 静岡県 愛知県 三重県	2051000 3723000 7443000 1833000	15050000	3~4
北陸	新潟県 富山県 石川県 福井県	2330000 1076000 1159000 795000	5360000	1~2
近畿	滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山県	1416000 2617000 8849000 5558000 1383000 979000	20802000	5
中国	鳥取県 島根県 岡山県 広島県 山口県	578000 702000 1930000 2840000 1420000	7470000	1~2
四国	徳島県 香川県 愛媛県 高知県	770000 985000 1405000 745000	3905000	1
九州・沖縄	福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県 沖縄県	5090000 840000 1397000 1801000 1178000 1120000 1680000 1415000	14521000	3~4

四肢軟部肉腫 WG・論点整理（最終チェック）

1. 専門施設の選定(情報公開の対象となる)

(ア)骨軟部腫瘍診断治療相談コーナーを基礎に、その上に各地域の中心施設を構築？

① 人口300万～400万？⇒地域ごとの施設数の目安を参照

施設数は目安。強制はしない。この施設数を目安に条件を決め、情報公開

(イ)条件をどうするか（委員提案のまとめを参照）

① 基準症例数の設定をどうするか

1. 新患者数？手術数？新患手術数？

2. 悪性のみでよいか？

(ア) 良性腫瘍、境界悪性は？

① これらは院内がん登録で登録対象外。骨軟部腫瘍登録のみ

(イ) さらに組織型を絞るべきか？

② 治療医と病理医の分布の乖離をどうするか？

1. 免疫染色・遺伝子検索が可能かどうかの情報をどのように使うか？

(ウ) 選定方法をどうするか？

① 手挙げ⇒地域で選定（話し合い？）⇒施設リストともに情報公開

② 手挙げ⇒情報公開をスタート⇒しばらくたった後に選定 or 検討

（具体的に依頼する事柄は、データの収集と公開のみ）

2. 一定の組織型に対してはさらに対応を別にするか

＝組織型別に「専門施設」「集約化」の対象を考えるか

3. 専門家の育成

(ア)2つの方向性

① 外からの医師の研修受け入れプログラムを整備

② 地域を対象としたカンファレンスを定期的に行う

(イ)症例数があることが大前提（どの程度？）

4. 非専門家の教育を、学会を超えて共同して企画？

5. 今後のタイムスケジュール

(ア) 10月26日までに条件案と公表項目を確定、その後情報公開を開始

(イ) 非専門家への教育の方法について（サブG）